

2013年度 自己点検・評価 全学的課題事項について

はとりまとめ組織

は検討・連携組織

基準	評価項目	2013年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準1】 理念・目的	評価項目No.102 建学の精神が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されていますか。	「建学の精神」を知らない学生が多く存在し、さらにはブランドコンセプト「You, Unlimited」と混同する学生が多く存在することは、2012年度全学協議会において指摘されている。また、正式な徽章を知らず、ブランドロゴマークを校章と勘違いしている学生も多く見られる。今後、不変の建学の精神の浸透と、社会の変化をとらえながら未来を志向するブランドの浸透とを、同時に進める効果的な方法を、教職学協働で検討する必要がある。【努力課題】	学長室 宗教部 学生部	まずは大学構成員の理解について実態を把握し、それぞれの浸透策を検討する等、学長室、宗教部、学生部が連携して取り組む。
【基準4】 教育内容・方法・成果	評価項目No.413 学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は構成員（教職員及び学生等）に周知され、社会に公表されていますか。	教養教育センター設置にともなう教養教育の目的、DP・CPの変更を機に、6つの観点に基づく「学位授与の方針」の学生に保証する基本的な資質と「教育課程編成・実施の方針」の関係が、カリキュラムや個々の授業（シラバスを含む）との関係において、どのような構造になっているか、学生に明示（説明）し、周知する方策の検討を早急に進めていただきたい。【努力課題】	教学部 教養教育センター	2012年度「大学全体の視点に係る課題事項」として、現在、当該組織である教学部が取り組みを行っている。今後、履修要項に明示する等、教学部と教養教育センターが連携して発展的に取り組む。
	評価項目No.421 教育課程編成・実施の方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	教養教育センターの設置や国際文化学部の移転、農学部の新設にともない、全学的な「グレイドナンバー制」の採用やグレイドの基準の明確化について検討していただきたい。【努力課題】	教学部 教養教育センター	教養教育センター設置や国際文化学部の移転、農学部の新設を契機として、教務会議で審議する等、教学部と教養教育センターが連携して取り組む。
	評価項目No.432 シラバスに基づいて授業が展開されていますか。	本学にはシラバスの位置づけや役割を明文化したものがないので、大学教育開発センターを中心に策定していただきたい。【努力課題】	大学教育開発センター 教学部	教務会議で審議・策定する等、教学部と大学教育開発センターが連携して取り組む。

基準	評価項目	2013年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準5】 学生の受け入れ	評価項目No.503 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	一部研究科においては、大幅な未充足状態が続いているので、継続して改善方策を検討する必要がある。【努力課題】	教学部 (各研究科)	2011年度・2012年度の全学的課題「研究科の入学者確保」にて進行中。 取りまとめ組織:教学部 関係組織:各研究科
【基準10】 内部質保証	評価項目No.1001 大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしていますか。	情報公表ホームページにおいて更新がなされていないページが散見され、社会への公表という点で問題がある。また、情報公表以外のホームページにおいても、必要な更新がなされていない状況がある。大学が発信する公式な情報として、また、大学構成員(教職員・学生)が共有できる基本情報として、適切に更新がなされるよう、改善が求められる。【努力課題】	学長室(広報) 総務課 (全組織)	更新時期及びルールを整理するなど、取りまとめとなる学長室(広報)と総務課が連携し、全組織において取り組む。